



# 明けましておめでとうございます

昭和50年 乙卯元旦 1975年

## 卯(う)年によせて

鳥兔匆々、早くも昭和50年乙卯(きのとう)の歳をむかえた。昭和の御代になってから、まさに50年、半世紀を過ぎたことになる。それが又、今の天皇が即位されてから50年、わが国の歴史始まって以来50年という長期の在位は始めということで、まことに目出度い新年をむかえ年頭の御祝詞を申し上げる。

鳥兔匆々というのは、鳥はからすで、日のなか、即ち太陽の中に3本足のからすがいるかのように見えることから、鳥は日をあらわし、月の中にはうさぎが餅をついているようなすがたが見えることからうさぎは月をあらわすことに古くからなっている。この故事から、鳥兔は日月のことをいうようになった。鳥兔匆々、わが朝日町も誕生以来、既に20年を経過し今年21才のよわいをむかえた訳である。成人に達した朝日町は生々発展への道をまっしぐらにすすむことであろうが、国情まことにきびしいものがあり前途多難を予想される。

さて、月の中に、うさぎが餅をついているという古くからのげん想のある中で、科学は益々発達し、月の世界に、人類が足をふみいれてから、数年は経過している。月面には生物という生物が生存しなかった。まさに死の世界なのである。高熱を以て一切の生物を育ててくれる太陽光線にくらべ、やはり死の世界、月よりの光線はただ冷たくてあたたかさがない。生物の存在しない月の世界にうさぎが餅をついているなど、断じてありうることではない。

うさぎ、うさぎ、なに見てはねる、十五夜お月さま、見てはね

る、と童謡にしたしまれ、月よりの使者にむかえられて、月の世界に舞立っていく、かぐや姫物語など、うさぎにかかわりを持つ月は如何に科学のメスが入れられようとも、月へのこのような夢はこどもたちにだけでなく、日本人の心情として持ちつづけたいものである。すべてを科学で切り切った世界はあまりにも味気ないものである。うさぎとびのように背のびをした一足とびを敢て成人に達した朝日町にのぞむものではない。時にはグウグウ一休みもあつたり、月の世界に餅をつくうさぎのげん想を持つ余裕もあつてほしいものであるが、理論づくめの町発展策は、1歩前進2歩後退のうき目にあうこともあろうかとおもえてならない。

最後に還暦のことについてのべておきたい。今年かぞえ年で61才の方は、きのとううさぎの年に生まれた方で、還暦をむかえられた訳である。満年令で歳をかぞえるようになってから、還暦のことがはつきりしないという人もあるが、「きのとう」という年は、61年目にまわってくるので、こよみが一まわりしたということである。人生50年の時代の還暦はまことに目出度いことであつたが、人生70年の今日ちょっと若いようではあるが、それにしても60年を生きながらえてきた喜びは感謝の中から生まれるものである。

ご多幸を祈って愚見をむすぶこととする。

(編集委員長 九里道守)

# 総需要抑制と 町勢進展のかねあい

さらたきびしき年へ

## 年頭の辞

朝日町長

中川 雍一



朝日町のみなさま、あけましておめでとうございます。昭和五十年、まさに昭和の後半世紀がはじまります。かえりみずくに、不況と戦雲にあけくれた二十年、敗戦から繁栄へとひた走りに走った三十年、そして今や大きな転換期を迎えた激動の昭和史であります。つ

い先頃までGNPを世界に誇る経済大国と謳歌した日本は、資源のない国力がいかにものか、そして経済的繁栄とはいかにはかないものを骨身にしみて反省しなければならぬ事態に当面しております。猛スピードの車に急ブレーキをかけたようなショックが物価高と不況、公害、交通事故あるいは犯罪などいろいろの形で身の廻りにおしよせてきています。

さて富山県の東北端に位置するわが町も、こうした世相の枠外にすぎずことは許されません。じつくりと腰をすえて、来し方をかえりみ、明日への展望を新しくしなければなら

りません。わが町は昨年をもって満二十年を記念しました。創成の時期から充実の時代へ入ったといえます。私はこのたび、さらに町長の大任を拝しました。慣れて墮せず負荷の重きを全うしたいと存じて居ります。

今後の町政の推進にあたっては、第一に道路を整備すること。第二には保育所、小中学校、高等学校の充実をはかるとともに、生涯教育の機会をひろめること。第三には街や野や山や海を、それ



れぞれの持味を生かせるように産業の基盤を整備すること。第四には住民の生命財産を守るため、災害の復旧と予防に努め、安心して住める郷土をつくること。これらを軸として、みなさまの声を町政に反映させながら全力を傾注したいと存じております。

ただ残念ながら、昨年来総需要抑制という国の方針で、さらでだに苦しかった町の財政が一段とつめた、厳しい時期に当面し、しかもこの当分は続くことを覚悟しなければなりません。ことによっては引き締めざるを得ない面が生ずると予想されますが、みなさまの格段のご理解と

## 年頭の挨拶

朝日町議会議長

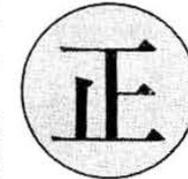
酒井 栄



ご協力をいただくことにより、めげず屈せず町勢進展につくし得ますよう心から念願申し上げるところであります。

町民の皆様あけましてお目出度うございます。昨年は皆様への御挨拶の中で申上げました通り、アラブ産油諸国の石油戦略に端を発し加えて

公害さわぎと、心もとない人達の不必要な買いだめに依ってかねてから予想されました通り異常なまでの物価の高騰を招き、労使関係もまた悪化の一途をたどり、特に公務員、公社現業のストライキの統発で被害甚大であった国民をして政治に対する不信をいだかしめ史上かつてない暗い一年の幕を閉じました。そうした中で町議会議員



工場で福祉行政の高揚につとめ、皆様と手をたずさえて旧来のセクシヨナリズムの打破に最善をつくして参りたい所存でございますので、どうか町民各位におかれましては、心から御激励を賜りますよう、御挨拶いたします。

中川町政の誕生を見るに至りましたことは町民の皆様と共に御同慶にたえませぬ。しかしながら内外の諸情勢は極めて深刻であります。今年もまた容易なことでは経済危機から脱出の見通しの立たない先行き暗い五十年の幕あけとなりました。

総需要抑制も更に強化されるでありましようし今年はおそらく二百万人の失業者が出るであろうといわれ

おわりに、みなさまの一層のご健勝をお祈りし、あわせて就任のご挨拶をかねて年頭の祝辞といたしま



尽力された次の方々を町長室に招き、表彰しました。

- 初代町長 金森 吟(故人)
- 二、三代町長 本村本松(故人)
- 初、四代議長 清水伝平(故人)
- 三代議長 米田吉二
- 五代議長 小坂 満
- 六代議長 上沢源次
- 七代議長 金井憲治
- 八代議長 上島栄作
- 六、七代議長 酒井 栄
- 永年勤続議員 大橋米太郎
- 永年勤続議員 渡辺秋男

なお、この表彰式のあと、出席者に中川町長を交えて座談会を開き、合併時の諸問題、沼中学校舎の建築、境川発電所建設、国道八号線の開通、泊病院の建築、都計道路、都市下水路事業など、当時の重要問題の思い出話を花を咲かせ、合わせてこれらの朝日町発展に、貴重なご意見を承り、盛会のうちに終わりました。

写真写真は座談会

# 昭和四十九年第八回 朝日町議会定例会

## 昭和四十九年度朝日町一般会計補正予算など 議案十九件を可決

### あらまし

昭和四十九年第八回朝日町議会定例会は十二月十六日から二十日まで会期五日間をもって開会されました。本定例会では昭和四十九年度一般会計補正予算(一六七、一七八千円内人件費一三六、三四八千円)はじめ条例の改正など議案十九件をそれぞれ可決しました。請願陳情五件については採択三件継続審査一件、審議未了一件の決定がされました。



12月16日 本会議(会期の決定、町長提案理由の説明及び議案説明)

12月17日 本会議(質疑及び一般質問)

12月18日 文教厚生委員会(付託案件の審査)

12月19日 総務委員会、産業建設委員会(付託案件の審査)

12月20日 本会議(常任委員長報告質疑、討論、採決、請願陳情の決定、日程追加、議員提出議案三件審議可決)

### 可決されたもの

昭和四十九年度朝日町一般会計補正予算(第四号)

一六七、一七八千円を追加し、歳入歳出予算の総額が一、六七七、五六二千円となりました。

昭和四十九年度朝日町国民健康保

険特別会計補正予算(第一号)

昭和四十九年度朝日町国民健康保険診療施設笹川、宮崎、境、山崎各診療所特別会計補正予算(第一号)

昭和四十九年度朝日町簡易水道特別会計補正予算(第二号)

昭和四十九年度朝日町立泊病院事業会計補正予算(第一号)

朝日町議会の議員等の報酬及び費用弁償に関する条例全部改正の件

朝日町の各種委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例制定の件

朝日町長、助役、収入役の給料及びその他の給与支給条例一部改正の件

朝日町教育委員会教育長の給与等に関する条例一部改正の件

朝日町の職員の給与に関する条例一部改正の件

朝日町の職員の特殊勤務手当に関する条例一部改正の件

朝日町社会教育指導員の報酬及び費用弁償支給条例一部改正の件

災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付に関する条例制定の件

朝日町老人医療費の助成に関する条例一部改正の件

朝日町心身障害者医療費の助成に関する条例一部改正の件

朝日町廃棄物の処理及び清掃に関する条例一部改正の件

(し尿の収集運搬処分手数料18リットルにつき35円を38円に改めるもの)

朝日町立境小学校大平冬期一時分校設置に関する件

### 議員提出議案

地方財政危機打開のための超過負担解消に関する意見書

いま全国の地方自治体は、かつてない深刻な財政危機に直面しております。この事態のもとで、当面地方自治体の超過負担解消のため、国は可急的すみやかに次の措置をと

り、適正な国庫補助金の算定交付をされるよう強く要望する。  
一、実勢単価と補助単価との差額をなくすること。  
一、実施事業量と補助対象事業量との差額をなくすること。  
一、補助対象に加えるべき事業と補助事業との差額をなくすること。

一、補助金交付条件をみたしているにもかかわらず、予算上の理由によって補助金交付を認められなかった認可差をなくすること。  
一、公共料金値上げ抑制に関する意見書。  
昨今の諸物価の高騰が住民生活に強い不満と著しい不安を与えているとき、政府は年明け早々には、電信電話料金をはじめ郵便料金、タバコ、酒類など大巾な値上げを予定している。又、これ等公共料金だけでなく、公共性の強い医療費、ガス、電車、バス料金など数多くの値上げが発表されている。公共料金はあらゆる物価の基本であり、値上げは、直ちに諸物価の値上げを誘発し、住民の生活に大きな影響を及ぼすことは明らかである。よって政府におかれては、物価変動の激しい現状を踏まえ、公共料金を極力抑制して国民生活の安定をはかるよう強く要望する。

全国全産業一律最低賃金制の法制化のための意見書。  
今日、異常なインフレ、不況下において、中小企業の経営悪化、倒産によってそこに働く労働者は雇用不安、労働条件の悪化、生活不安の脅威にさらされ全国二、四〇〇万人にのぼる、未組織労働者、低賃金層に対する政治的施策が強く求められている。

このような事態に対処するため、低賃金打破のための全国一律の最低賃金の法制化を実現す

ることは緊急の課題である。よって、政府におかれては、全国一律最低賃金の法制化についてすみやかに措置されるよう強く要望する。

### 請願陳情

十二月定例会において、請願三件、陳情二件が各常任委員会に付託され審査の結果次のとおり決定されました。

### 採択されたもの

△朝日町地内に、新川広域圏事業共同火葬場の早急設置について (金山町内会)

陳情

▽昭和五十年度小、中学校費予算増額について (朝日町学校長会)

▽境公民館建設について (境公民館建設準備委員会)

継続審査になったもの

▽橋向町流雪溝設置について

審議未了となったもの

▽朝日町議会広報の発行について (朝日町連合青年団)

### 常任委員長報告

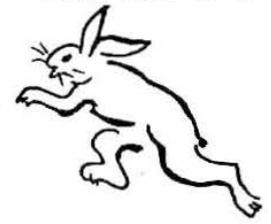
総務、文教厚生、産業建設三委員会とともに議会から付託された全案件を原案どおり可決。請願陳情をそれぞれ決定したむね各常任委員長より報告され、次のことが要望されました。  
総務委員会  
審査の過程において、主要要望意





# 町日探る 朝を

## 卯 年生れのアンケート



### えとの由来

干支は、今から三〇〇〇年前、中国の殷王朝時代に始まったと言われ、日本には六世紀頃に入ってきたもので、暦の年月日、時刻、方角を表わす記号として使われ、甲から癸までの十干(幹)、子から亥までの十二支(枝)を、兄(え)弟(と)の二つに分けて六十組に組み合わせ、ひとまわりすると、いわゆる還暦である。

藩政時代の文書などは年代を表わすのに、元号のあとに年数を書かないでほとんど干支を使って表わしていた。

方角では、東は卯(う)西は酉(と)南は午(うま)北は子(ね)で巽(たつみ)北西は戌(いぬ)と亥(い)で乾(いぬい)南西は未(ひつじ)と申(さる)で坤(ひつじさる)北東は丑(うし)と寅(とら)で辰(うしとら)とよび、

時刻では、子の刻は夜中の〇時で午前は二時間を一刻(とき)と称して、丑寅卯辰巳午と、午の刻が正午

で、午後未申酉戌亥と二時間刻みになっている。

この記号を動物のなまえにあてはじめたのは戦国期以降だと言われているが、現在暦の上でのえとは生活とは何ら大きな関連性はなくなったといえる。維新から百年以上もたった今日なおお冠婚葬祭などに連して若い人たちの中にさえ、意識や観念として生きていることは、何とも不思議なことと言わざるを得ない。

昨秋台湾を旅行した友人が、ひなびた漁村でスケッチをしていたところへ、年離れた漁夫がでて来て親しく日本語で話しかけてきたが、その会話の中で老人が「あなたはなに年生れか」と聞かれたことが強く印象に残っていると語っていた。

十干十二支などというものは、科学や文明を超えた東洋的シンボルかも知れないという気がする。

さて、本年も昨年同様、今年のとに因んで、町民の中から卯年生まれの方々に登場していただき、各年令層から標題の質問要旨に対するアンケートを寄せていただいた。回答の意義や価値については、それぞれの立場から汲みとっていただければ幸いである。(編集子)

### アンケート質問要旨

住みよい町づくりのために

- 一、朝日町の将来についてあなたはどんなことを期待しますか。
- 二、あなた、新町長、町会議員の

方々にどんなことを期待しますか。

(住みよい町づくりを目ざしてやってもらいたいこと)

三、朝日町に是非ほしいと思うもの(なるべく実現可能と思われるもの)



主婦 水島栄子 昭和26年生 (宮崎)

(一)職住近接とよくいわれますが、今朝日町にはそれを満たしてくる場所が少なく、その為に沢山の者が町から離れて働いていますがこれらの多くの人々が外に出ないで働けるような職場が必要だと思います。観光については開発よりも、自然を残すことに力を入れることが大切ではないでしょうか。

(二)新町長、議員の皆様私達町民の代表として議会運営にあたっておられますが、町議会というのは私達にとってもっとも身近に体験できる政治の場なのではないでしょうか。ですから、なお町議会というのはガラス張りであって欲しいと思います。

●町の中に休日など家族で遊びに行けるような広い公園を造ってほしいと思います。すべり台、ブランコ、砂場などを備え、毎日汽車や車の往來が激しくて子供達を安心して遊ばせてやる事ができない今日自由に親子が遊べる場所が必要です。



会社員 加藤 秀樹 昭和26年生 (東下町)

(一)朝日町は、平地よりも山間部が多

いだけに、工場を誘致することは困難である。そこで観光地として考える場合、徐々に開発の進んでいる城山(宮崎海岸ルート)と、それに最近クローズアップされて来た不動堂遺跡、棚山、等、これらを観光地として開発すればどうでしょうか。それも、自然破壊を極力おさえた開発を望みます。結論的には、観光と、静かな住宅地(BEDROOM)の2本立を期待します。

(二)都市計画を、もっと慎重に考えてほしい、例えば公共施設(郵便局、役場、警察署、消防署、等)の隣設。目先のことだけでなく、長い目で見た都市計画を願う。

●今の高校が、新グラウンドの方へ完全移転した場合、その跡はどういう計画になっているか知らないが緑がふんだんに有り、休日には老人が孫を連れて散歩し、木影では、寝そべって読書でもしている人、グラウンドでは、若者がテニスでもして軽く汗を流せるという総合公園にでもなったらという夢を見たいです。



会社員 勝田 義盛 昭和14年生 (笹川)

(一)朝日町は観光資源、および産業の条件には非常に恵まれている。これを、関連づけた、いわゆる観光物産の開発、促進による住民生活の向上を図る施策を期待するが、具体的第一歩として、城山公園を起点として、宮崎鹿島の植物園、宮崎海水浴場を一環したドライブコースの開発と、これと並行して、三峰ス

キー場を整備し、国道からの乗り入れを利便化し、雑木林を、桜、桃、柿等の果樹林に切りかえ、果樹物産、海産物による観光物産の定着化と四季を通じての、一大楽園地帯の早期実現を期待する。

(二)常に、「初心にかえって」町民本位とした、山びこ町政にあたってもらうことを期待する。

●、子供と老人を中心に、町民の憩いの場として、城山公園地帯に町営による、娯楽、宿泊施設を造成してほしい。



主婦 水島 祥子 昭和14年生 (境)

(一)町民の日常生活が安定し、自然環境に恵まれた朝日町を、町民自らが自然保護を第一に、大いに活用する観光地である事を期待します。

(二)昨年の石油危機に相次ぐインフレ、物価高騰と不安な日常生活の中で物価安定に伴って町民生活安定を期待し、又、不偏、不党の公平な町政であると共に町長、町議の方々の働きにより町政発展を願います。

●自分が町に出ます直面する事、それは駐車場のない事です。中町の駐車場はいつもいっぱいに入らず街は駐車禁止で買い物に出かけても車の置き場にとっても困ります。広くて自由に出入り出来る駐車場が是非ほしいと思います。





# 福祉の窓

## 国民年金の老齢年金の受給者は

現況届を出しましょう

老齢年金は年四回、通算老齢年金は年二回の支払日にみなさんの指定された金融機関や郵便局を通じて支払われておりますが、今後引き続いて年金をお支払いするために、みなさんの現状を確認しておく必要があります。

そのためには、国民年金、または通算老齢年金を受けている人は、昭和五十年二月十五日までに「国民年金受給権者現況届」を提出していただきます。

用紙は一月中旬に社会保険庁から直接本人あてに送ってきますので、用紙が届きましたら必要事項を記入し、市町村長の証明書を受けて下さい。この届は、郵便ハガキとなっておりますので十円切手を貼って投函してください。

二月十五日までに現況届の提出がないときは、昭和五十年六月期以降の年金が受けられないこともありまますのでご注意ください。

## 現況届を提出する人

昭和四十九年二月十五日以前から国民年金の老齢年金、通算老齢年金を受けている人。

## 兔を詠む

広川 親義

沢杉の林にひそむ野兔ならむ跡あたらしき朝の雪原

怖(お)するなく吾により来て赤き臍をみはる兔のめぐしかりけり

陽あたりに兔あねむり長き耳ときにそばだてまた倒しつづ

ひそとゐる小舎の兔の長き耳陽ざしに透きていろの愛(かな)しき

兎吊るしひさげる店を町に見し少年の日の悲しみ今も

(北日本歌壇選者、朝日町教育委員長)

## 白銀の世界を

楽しもう

今年もスキー教室が開かれます

長野県わらび平

今年もスキー教室を開講し次の要領で参加者を募集します。

▽期日 一月二十六日(日)～一月二十八日(火)

▽会場 長野県わらび平スキー場 宿泊、わらび平山荘

▽対象 初心者を中心とする。

▽受講者 (イ)五十名(申込順) (ロ)朝日町内に住所を有する者

(ハ)全日程を確実に参加できる者

▽参加費 一人 六、一〇〇円(交通費を含む)

▽申込 所定の申込用紙に必要事項記入のうえ、申込金一、〇〇〇円を添えて申



△写真は、昨年度のスキー教室のスナップ

## 新春文芸

### 初春の句

朝日町柄(たふ)句会

初春や紅さし白き足袋をはく 池原喜美子

去年今年つらぬき流る黒部川 板沢 茂

何問はん馬鬣の峰や初明り 梅沢 素火

百鶏に生きて拝みし初日かな 尾崎泊童

初鴉空の深さに羽搏けり 片桐莒女

雪嶺の大の如くに生きむとす 川上寒月

いくとせか久しき友の初便り 金田奈々子

新春の松柏幹を輝かし 清水直樹

初日影ペンだこの指伸ばしみる 双川和夫

成すことの今年も多しお元日 長崎碧山人

波に浮く夫婦鴨や千代の春 浜田 一男

惚れ合うて共に還歴の年迎う 舟本伊次郎

波頭光りありけり初哉 平坂久雄

芹ささむ手に若水のぬくもりて 本田千代乃

あどけなき賀状今年も施設の児 水島末吉

懐かしき人の賀状に刻忘る 柳沢 一枝

読初の子全集や俳話編 松倉悟童

## 積雪対策について

ご協力をお願い

いよいよ降雪期を迎え、町では道路除雪実施計画に基づき、冬期間の交通確保に万全を期するため、早朝高速除雪をいたしますので、つぎの事からについて特別の御協力をお願い申し上げます。

一、除雪車の運行に支障がありますので、絶対に路上駐車しないようお願いいたします。

二、機械除雪のため、民家の入口を防ぐ場合もあると思っておりますので、その点よろしく願います。

△写真は除雪風景



## 朝日町人事異動

自治大学 総務課 石井 敏  
新 派遣 人事係長  
旧 校 派 遣 人事係長  
退 職 看護婦院 酒井悦子  
看護婦院 採道島たけ子  
看護婦院 採道島たけ子  
(昭和五十年一月一日付)  
(昭和五十九年十二月三十一日付)

# 建設

## 林道棚山線 開設工事完成

山林資源と 観光開発をめざして

棚山より羽入にいたる林道棚山線が、このほど延長二二八米巾員四・〇米を工事費八百七十万円円で完成しました。

同林道は花房地内から羽入地内まで総延長八千メートルの計画であり、羽入まであと二千五百メートル迫っております。

この林道は棚山台地二百五十ヘクタールの山林資源の開発を促進するだけでなく、景勝地として観光開発



対象地となつていているところから今後の利用価値が増大するものと期待されています。  
写真完成した棚山林道

町税・県税・国税納期一覧表

月	町税	県税	国税
4月	町民税	町民税	町民税
5月	町民税	町民税	町民税
6月	町民税	町民税	町民税
7月	町民税	町民税	町民税
8月	町民税	町民税	町民税
9月	町民税	町民税	町民税
10月	町民税	町民税	町民税
11月	町民税	町民税	町民税
12月	町民税	町民税	町民税
1月	町民税	町民税	町民税
2月	町民税	町民税	町民税
3月	町民税	町民税	町民税

今月は 町民税、国民健康保健税共に四期の納付期月です。忘れずに納めましょう。

# 今月の税金

## 消防署から

### 積雪時の除雪と 火災予防

本格的な冬の訪れとともに、積雪のため消防車及び救急車の運行に支障をきたすことも考えられます。特に市街地では積雪状況を見て町内の一斉除雪をするなどしてご協力下さい。また寒さが厳しい毎日ですが、石油ストーブ等の暖房器具の取り扱いを要ります。暖房、ガス器具等の取扱い方法に十分注意して、火災発生防止につとめるとともに次の事を守って下さい。

・屋根に雪が多く積ると思われるときは早目に降すこと。

・屋根雪等を道路に降したら、すぐ整理して、消防車、救急車が通行できるようにして下さい。

・消火栓、貯水槽は町内を守る大切な水利ですので周囲の除雪を励行して下さい。

・火災を通報するときは、場所及び目標物を明確に連絡すること。また救急車を要請するときは、場所目標物、病人の病状等を明確に連絡して下さい。

※火災が発生すると、一一九番火災、救急専用電話での問い合わせが殺到し、ベルが鳴り止むひまがありません。もしこの間に救急車等の要請があっても話し中で大切な人命が失われることも考えられますので、火災の問い合わせに一一九番を回されても応じませんので一般加入電話(三〇〇)九番で問い合わせ下さい。

## 相談ごと(案内)

### 行政相談

日時 毎月第一火曜日

午前十時～午後三時

場所 朝日町福祉センター

日時 一月二十一日

午前十時～午後三時

場所 朝日町福祉センター

▽心配ごと相談

日時 毎週火曜日

午前十時～午後三時

場所 朝日町福祉センター

TEL三〇五七六

## みんなの図書館



の心も 本は 本は

予約サービスを ご利用ください  
ご希望の本を確実に 手に入れるために

読みたい本は、どんどん予約してください。

電話でもOKです。(TEL三〇五七四)

あなたの読みたい本が図書館にな

いときは……

貸出中ならその本が返ったときお知らせします。

まだ買っていない本は新しく購入して真先にお知らせします。

買えそうにない本は県立図書館などから借りてお知らせします。

新着図書のおんない

色徳(上、下) 瀬戸内晴美

花ぐるま(上、下) 田中澄江

真砂屋お峰 有吉佐和子

スフィンクス 堀田善衛

巨大な墓標(上、下) 黒岩重吾  
円型水槽 曾野綾子  
夜あけのさよなら 田辺聖子  
砂の時計 丹羽文雄  
礼遇の資格 鮎川哲也  
日本人ここにあり(上、下) 梶山季之  
野わけ 渡辺淳一  
どてらい男(一、六) 花登 篁  
すてい自分だめな自分の研究 三浦朱門

父吉川英治(上、下) 吉川英明  
仏像に想う(上、下) 梅原 猛  
千代紙の人形と折り紙 雄 鶴 社

## 募集コーナー

### 「わが家の家計簿」 体験談募集

貯蓄増強中央委員会では第二十一回「わが家の家計簿」体験談を次のとおり募集しています。ふるってご応募ください。

1. 内容・家計簿記帳に関するものであれば自由

2. 原稿・四〇〇字詰原稿用紙五枚以内、(別添、月別、項目別支出一覧表)

住所(電話番号)氏名、職業、年令、家族名(応募者との続柄、年令、職業、就学状況)、家計簿記帳年数

3. しめ切、昭和五十年二月二十八日

4. 送り先、富山県貯蓄推進委員会 (〒930) 富山市提町通 日本銀行富山事務所内

5. 入選、特選、五編、賞金、五万円

秀作、十編、賞金、三万円

佳作、三十五編、賞金、一万円

# 自衛官募集

**資格** 十八才以上二十五才未満男子  
**待遇** 初任給 五万八千二百円  
 衣食住無料 賞与 年三回  
**試験及び採用**、日曜祭日を除く平日  
**申込み先及び受付先**  
 自衛隊富山地方連絡部(TEL、  
 四一三二七二)  
 朝日町役場総務課(三二一〇〇)

## 北電だより

### 雪が降つたら 電線にご注意

・雪おろしの際には 電線にふれないでください  
 ・切れた電線には 手をふれないでください  
 ・木の枝が電線にふれていませんか



危険な個所がございましたら  
 北陸電力へお知らせください。  
 TEL 310028

## 善意の預託

朝日町善意銀行  
 次のかたがたから、朝日町善意銀行へ、社会福祉の増進のため、貴重

ふ善意を預託されました。  
 ここに厚くお礼申し上げます。  
 参万円也

富山市 下浜千与殿  
 朝日町のみなさまにいろいろとお世話になりましたと御挨拶に添えて社会福祉のために役立てたいと持参されたもの  
 参万五千元也

荒川 明 文 堂殿  
 新築開店のお祝いに、泊青年団の協力を得てチャリティパーティを催したその益金を恵まれない子供達のためにと預託されたもの  
 参千六百貳拾円也  
 笹川小学校児童会  
 代表 勝田二美枝殿

小遣いを持って寄って歳末恵まれない人達のためにと預託されたもの  
 参万円也  
 松蔭町 西島さゆみ殿  
 拾得金を恵まれない人達のために役立てたいと預託されたもの  
 参千六百円也  
 五ヶ庄小学校 広田祐子殿  
 小遣いをためて、歳末恵まれない人達のためにと預託されたもの  
 参万貳千五百円也

扇谷工業所従業員一同殿  
 六万八千五百五拾円也  
 朝日ロータリークラブ殿  
 いずれも例年に引続き歳末たすけあいの拠金として恵まれない人達のために役立てたいと預託されたもの

## 学校への寄贈

泊小学校へ  
 荒川 尾山彦太郎氏からビデオテ

## カラーテレビ

- 沼保 大菅 武氏から 二台
- 沼保 草野和夫氏から 二台
- 平柳 辻 仁志氏から 二台
- 沼保 中川稔夫氏から 二台
- 東草野 下沢健次氏から 一台
- 沼保 尾崎 法氏から 一台
- 沼保 金井和男氏から 一台
- 沼保 川瀬隆吾氏から 一台
- 沼保 木村信嗣氏から 一台
- 沼保 高木哲夫氏から 一台
- 沼保 橋 益永氏から 一台
- 沼保 寺崎元人氏から 一台
- 荒川 坂東健二氏から 一台
- 平柳 坂東 保氏から 一台
- 沼保 氷見 博氏から 一台
- 沼保 松倉利喜氏から 一台
- 平柳 株式会社松倉商店取締役 社長松倉実喜氏から 一台
- 沼保 松原隆一氏から 一台
- 沼保 水島春雄氏から 一台

## 町立図書館へ

平柳 平野幸太郎氏から  
 図書、人間の世界史二十一巻

## おめでたと おくやみ

(昭和四十九年十二月十日現在)

## 出生

- 境 水島盛夫 長男 陸 広
- 宮崎 扇谷善志 長男 善 昭
- 宮崎 扇谷 要 二女 美 子
- 宮崎 加藤利度 長男 利 洋
- 宮崎 野田広宣 長男 知 光
- 宮崎 水島富雄 長男 巧 達

## 結婚

- 宮崎 小森之夫 長男 匠 一
- 笹川 堀内雅晴 長女 三 世
- 横尾 越坂政明 長男 正 也
- 横尾 高塩六男 長女 さお り
- 平柳 末上 毅 二男 宏 人
- 東草野 米田吉則 長男 吉 仁
- 榎町 藤田紀雄 長男 聡 一
- 山崎 水野桂三 長女 亜由 美
- 山崎 秋山利順 二男 浩 二
- 下山新 能島友行 長男 寛 典

- 東草野 深松 範男
- 笹川 堀内 俊枝
- 金山 金田 敏
- 新潟県 五十嵐美也子
- 蛭谷 川合 恒安
- 泊 松田 明美
- 横尾 萩原 盛一
- 愛知県 川合 広子
- 京都府 渡辺 義暢
- 境 神原 一子
- 草野 追分 豊和
- 新潟県 五十嵐美代子
- 荒川 加藤 功一
- 魚津市 海野 益美
- 窪田 吉田 信明
- 入善町 扇原 照子
- 赤川 山田 達男
- 赤川 佐渡 環美
- 山崎 長津 法芳
- 山崎 長津 久二子
- 山下 平崎 勝
- 入善町 長島 好美
- 月山 狩谷 常隆
- 宇奈月町 森川 繁子
- 東草野 下沢 悦子
- 山崎 安達 悦子

## 死亡

(おくやみ申しあげます)

- 境 水島 由松 (69)
- 境 水島 権六 (73)
- 横尾 長井 宝得 (79)
- 山口 山口 みさ (65)
- 泊 川上 竹千代 (71)
- 泊 上野 イ子 (61)
- 道下 山手 柳作 (65)
- 榎町 大久保 さや (57)
- 月山 狩谷 紋二 (58)
- 赤川 金井 利一 (45)
- 南保 道用 嘉之 (69)
- 山崎 水野 正史 (35)
- 山崎 森岡 きく (84)
- 山王 名越 ふさ (93)
- 舟川新 山崎 繁松 (76)

## 12月の町内交通事故数

月	件数	死者	負傷者
1月~11月	68	1	87
12月	3	0	3
本年累計	71	1	90

編集兼発行 朝日町役場  
 印刷所 高田印刷  
 送料 十二円  
 定価 六円  
 郵便番号 九三九一〇七